



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月13日

上場会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2884 URL http://y-food-h.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 吉村 元久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 安東 俊 (TEL)03(6206)1271
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績 (平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年 2月期第2四半期	9,935	43.9	352	44.9	389	56.6	331	102.8
29年 2月期第2四半期	6,903	—	243	—	248	—	163	—

(注) 包括利益 30年 2月期第2四半期 323百万円 (98.2%) 29年 2月期第2四半期 163百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年 2月期第2四半期	75	87	75	49
29年 2月期第2四半期	37	62	37	50

(注) 平成28年2月期第2四半期におきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
30年 2月期第2四半期	9,259		4,000		43.2	
29年 2月期	8,590		3,646		42.4	

(参考) 自己資本 30年 2月期第2四半期 3,999百万円 29年 2月期 3,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末		第2四半期末		期末	合計
	円	銭	円	銭		
29年 2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
30年 2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
30年 2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	19,687	21.2	648	31.5	702	32.7	516	46.0	118	18

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 連結業績予想の修正につきましては、本日(平成29年10月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) — 、除外 一社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	4,375,059株	29年2月期	4,348,799株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	383株	29年2月期	383株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	4,368,792株	29年2月期2Q	4,345,174株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用情勢の改善等により、緩やかながらも回復基調を続けてまいりました。しかしながら、地政学的リスクの高まりや保護主義的風潮の広がり等、先行きの不透明感は払拭できないまま推移しております。

食品業界におきましては、依然シェア争いに伴う価格競争等熾烈な消耗戦が継続しており、経営環境は厳しい状況のまま推移しております。また、業界内においては、経営者の高齢化による事業承継問題等多くの課題が山積しております。

このような環境の下で当社グループは、様々な問題を抱える中小食品企業をグループ化し、改善することで事業拡大を図るとともに、傘下企業においては、継続的に設備投資や新商品の開発等を推進してまいりました。また、グループのリソースと当社の各支援機能「中小企業支援プラットフォーム」を有機的に結合し収益の最大化を図るとともに、経営効率の高い組織づくりに注力するなど、企業価値の向上に努めてまいりました。

なお、当第2四半期累計期間におきましては、調達資金の使途として楽陽食品㈱および㈱雄北水産に導入を予定しておりました「ライン冷却設備」、「原料冷凍庫冷蔵機」を導入しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,935,755千円（前年同期比43.9%増）、営業利益352,339千円（同44.9%増）、経常利益389,900千円（同56.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益331,453千円（同102.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 製造事業

製造事業につきましては、積極的な設備投資および「中小企業支援プラットフォーム」の各機能による支援により、新商品の開発や販路の拡大等の取り組みをおこなってまいりました。

また、前連結会計年度後半より新たにグループ企業となった純和食品㈱、栄川酒造㈱および㈱エスケーフーズが収益面で寄与したことや、楽陽食品㈱において主力商品および新商品の販売が好調に推移したことにより、売上高は7,701,696千円（前年同期比59.6%増）となりました。

利益につきましても、グループの拡大等により売上が伸びたことや、生産性の向上を目的とした設備投資等により原価率が低減した結果、利益は460,104千円（前年同期比40.9%増）となりました。

② 販売事業

販売事業につきましても、「中小企業支援プラットフォーム」による情報網等を活用し、既存取引先への販売強化および企画提案力の向上に注力してまいりました。

その結果、主要得意先への販売が好調に推移したこと等により、売上高につきましては、2,234,059千円（前年同期比7.4%増）、利益につきましては96,955千円（前年同期比4.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は9,259,439千円となり、前連結会計年度末に比べて669,387千円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加318,939千円、たな卸資産の増加205,522千円および有形固定資産の増加155,455千円があったことによるものです。

負債は5,258,611千円となり、前連結会計年度末に比べて314,832千円増加しました。これは主に、買掛金の増加367,172千円があったことによるものです。

また、純資産は4,000,828千円となり、前連結会計年度末に比べて354,554千円増加しました。これは主に、資本金の増加11,160千円、資本剰余金の増加11,160千円および利益剰余金の増加331,453千円があったことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期累計期間に比べ、279,904千円増加し、1,710,549千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、275,048千円（前第2四半期累計期間は149,902千円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益414,602千円、仕入債務の増加367,172千円および減価償却費99,222千円等の増加要因に対し、売上債権の増加318,964千円およびたな卸資産の増加205,522千円等の減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、197,213千円（前第2四半期累計期間は427,953千円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出165,308千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、81,719千円（前第2四半期累計期間は638,280千円の収入）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入300,000千円等の増加要因に対し、長期借入金の返済による支出356,316千円等の減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しをおこなった結果、平成29年4月14日付「平成29年2月期決算短信」にて発表しました、平成30年2月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日別途開示いたします「平成30年2月期第2四半期業績予想の修正及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,754,466	1,750,581
受取手形及び売掛金	2,396,849	2,715,789
商品及び製品	1,355,139	1,405,000
原材料及び貯蔵品	573,157	728,819
その他	126,538	103,241
貸倒引当金	△6,856	△7,249
流動資産合計	6,199,294	6,696,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	523,084	529,783
機械装置及び運搬具(純額)	433,757	470,265
その他(純額)	744,651	856,900
有形固定資産合計	1,701,494	1,856,949
無形固定資産		
のれん	405,043	357,823
その他	46,206	51,930
無形固定資産合計	451,249	409,754
投資その他の資産		
その他	342,566	401,130
貸倒引当金	△104,552	△104,577
投資その他の資産合計	238,013	296,552
固定資産合計	2,390,757	2,563,256
資産合計	8,590,052	9,259,439

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,319,068	1,686,240
短期借入金	65,000	30,000
1年内償還予定の社債	20,200	19,600
1年内返済予定の長期借入金	656,221	682,656
未払法人税等	103,309	118,720
未払消費税等	102,835	41,341
賞与引当金	63,851	75,586
その他	820,489	894,701
流動負債合計	3,150,975	3,548,845
固定負債		
社債	14,500	5,000
長期借入金	1,610,567	1,527,816
退職給付に係る負債	97,459	41,760
その他	70,276	135,190
固定負債合計	1,792,802	1,709,766
負債合計	4,943,778	5,258,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,048,287	1,059,447
資本剰余金	1,237,060	1,248,220
利益剰余金	1,355,708	1,687,162
自己株式	△360	△360
株主資本合計	3,640,696	3,994,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,017	4,797
その他の包括利益累計額合計	4,017	4,797
新株予約権	1,560	1,560
純資産合計	3,646,273	4,000,828
負債純資産合計	8,590,052	9,259,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	6,903,934	9,935,755
売上原価	5,364,188	7,744,450
売上総利益	1,539,746	2,191,305
販売費及び一般管理費	※ 1,296,598	※ 1,838,965
営業利益	243,147	352,339
営業外収益		
受取賃貸料	4,610	7,011
補助金収入	4,479	5,525
受取補償金	—	15,708
保険解約返戻金	—	9,518
その他	5,521	7,090
営業外収益合計	14,611	44,854
営業外費用		
支払利息	6,508	6,341
支払手数料	2,000	—
その他	272	951
営業外費用合計	8,781	7,293
経常利益	248,977	389,900
特別利益		
固定資産売却益	413	28,222
特別利益合計	413	28,222
特別損失		
固定資産除却損	—	1,701
固定資産売却損	1,173	1,819
特別損失合計	1,173	3,520
税金等調整前四半期純利益	248,217	414,602
法人税、住民税及び事業税	93,478	113,849
法人税等調整額	△8,733	△30,700
法人税等合計	84,744	83,148
四半期純利益	163,473	331,453
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,473	331,453

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	163,473	331,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	780
その他の包括利益合計	△75	780
四半期包括利益	163,397	332,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,397	332,233
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	248,217	414,602
減価償却費	77,999	99,222
のれん償却額	37,845	47,219
賞与引当金の増減額(△は減少)	614	11,735
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	119	△55,699
受取利息及び受取配当金	△233	△743
支払利息	6,508	6,341
固定資産売却損益(△は益)	759	△26,403
固定資産除却損	—	1,701
売上債権の増減額(△は増加)	△33,759	△318,964
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,865	△205,522
仕入債務の増減額(△は減少)	50,529	367,172
差入保証金の増減額(△は増加)	△111	△8,612
未払金の増減額(△は減少)	△25,563	27,785
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,155	△61,494
その他	6,285	35,447
小計	346,192	333,786
利息及び配当金の受取額	233	743
利息の支払額	△5,671	△6,147
法人税等の支払額	△190,852	△53,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,902	275,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△71,251	△165,308
有形固定資産の売却による収入	692	20,231
無形固定資産の取得による支出	△16,289	△27,960
投資有価証券の取得による支出	△1,553	△728
定期預金の払戻による収入	50,190	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△389,740	—
その他	△2	△23,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△427,953	△197,213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000	△35,000
長期借入れによる収入	750,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△308,753	△356,316
社債の償還による支出	△45,000	△10,100
株式の発行による収入	242,880	—
自己株式の取得による支出	△48	—
リース債務の返済による支出	△3,358	△2,624
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	22,321
新株予約権の発行による収入	1,560	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	638,280	△81,719
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	360,229	△3,884
現金及び現金同等物の期首残高	1,070,416	1,714,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,430,645	※ 1,710,549

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,824,609	2,079,324	6,903,934	—	6,903,934
セグメント間の内部売上高又は振替高	51,246	638,563	689,810	△689,810	—
計	4,875,856	2,717,888	7,593,744	△689,810	6,903,934
セグメント利益	326,648	92,949	419,598	△176,450	243,147

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれん金額の重要な変動)

「製造事業」セグメントにおいて、純和食品株式会社他1社の全株式を取得し連結範囲に含めたことに伴い、のれんが281,205千円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,701,696	2,234,059	9,935,755	—	9,935,755
セグメント間の内部売上高又は振替高	80,358	639,023	719,382	△719,382	—
計	7,782,055	2,873,083	10,655,138	△719,382	9,935,755
セグメント利益	460,104	96,955	557,059	△204,720	352,339

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。